

黒人における各種疾患と身体的特徴について¹

サミュエル・C・カートライト

ルイジアナ医学会委員会・委員長

(中略)

逃亡奴隷精神病 (Drapetomania or the disease causing slaves to run away)

ドラペトマニア (drapetomania) とは、逃走する奴隷を意味するドラペテースと、狂気を表すマニアという用語に由来する。我々医学会では知られていないが、役務からの逃避というその症状は農園主や監督者にはよく知られていて、古代ギリシャでは逃走と言う事実と、逃走するものと逃走者の関係を表す単語ドラペテースによって表現されていた。私は、彼らの逃避を引き起こす精神の疾患を表すため、逃走する奴隷という意味の言葉に、別のギリシャ語を加えた。これまで多くの病気の中に分類されていない疾患を知らしめるには、それを表す新たな用語が必要である。多くの症例において、黒人を労役から逃亡させる原因は、他の精神異常と同様、こころの疾患であり、原則的にはより治癒しやすいものである。適切な医師の助言に厳格に従えば、自由州との境界で、奴隷解放論者の目と鼻の先にいる奴隷が配置されていたとしても、多くの黒人が逃亡するという厄介な習慣はほぼ完全に防ぐことができる。私はブルーリッジ山脈の東にあるバージニア州に生まれた。ここは

¹ Cartwright, S. C. (1851). Report on the diseases and physical peculiarities of the negro race. New Orleans Medical and Surgical Journal, 8, 691-715.

黒人が多数いる州である。そして、メリーランドで数年間医学を学んだ。ここは奴隷制度のある州で自由州であるペンシルベニアとは、壁や番人のない単なる空中の境界線であるメーソン・ディクソン線で区切られているだけである。遠い昔、非常に良い、または非常に悪い農園主たちが、しばしば彼らの奴隷を農園からの逃走によって失うのを見ている。一方で、非常に秩序があり、よくしつけられている奴隷たちであれば、良い農園主あるいは悪い農園主としてそれぞれ称賛されたり、叱咤されたりしていても、警備員や彼らを妨害する強制的な方法がないにも関わらず決して逃走しないのである。単なる名目上の、警備員のいない境界を越えることを防ぐ管理方法と同様の方法によれば、どこであっても黒人奴隷が逃走することを防ぐのである。

黒人たちを支配する正確な方法を明らかにし、当該疾患を治療し予防するために、私たちはモーゼ五書にさかのぼり、黒人を表す用語の翻訳されていない本当の意味を学ぶ必要がある。当該人種に与えられた名称の中に、彼らが逃走できないように統治する真の手法が込められている。その用語の正確な翻訳は、創造主の黒人に対する意志を表す。その言葉は、黒人が従順で熱心な信者であることを言明している。彼らの膝の解剖学的な形態、私たちが“*genu flexit*”と呼んでいる彼らの身体構造は、ほかのどの人種よりも曲がり、曲げることができる。もし白人男性が黒人を神の意志に逆らって、「敬虔で熱心な信者」（全能の神がそうあるべきだと述べている）ではない何かにしようとしたり、自身を黒人と同等に置いたり、神が彼に与えた力を濫用したり、怒りによって黒人につらく当たったり、

罰したり、また同僚の奴隷やその他の人の無慈悲な虐待から彼を守ることを放置したり、生活での普段の快適性や必要を無視したりすると、黒人は逃走するのである。しかし黒人奴隷が聖書から学んだポジション、すなわち敬虔であるという地位に自身を位置づけ、かつ同時に彼の主人や監督者が親切で、彼に対して見下したりせず丁寧にふるまい、同時に身体的な要求に応じ、彼を虐待から守れば、黒人奴隷は魅せられ、逃走することができないのである。直接的に表現されないものの、「彼はジェイセフに仕えるべきである—彼はジェイセフの最も卑しい下僕だ」と言及される状態—が暗喩されている。私の経験によれば、'genu flexit'つまり尊敬や畏怖は彼らから引き出されなくてはならず、そうでなければ彼らはその主人をさげすみ、怠惰で始末におえなくなり、そして逃走するのである。メーソン・ディクソン線では、2種類の人々が彼らの黒人を失う傾向があった。最初の種類の人々は、黒人に対し過度に親しく、彼らを対等に扱い、肌の色による区別をしないまたはほとんどしない者である。一方で、黒人を無情に扱い、日常的な生活上の必要を無視し、他者からの虐待から彼らを守ることを放棄し、彼らの非行を罰しようとする際に怒鳴り散らすようなやり方で扱うことで、彼らを怖がらせる者が二番目の人々である。黒人たちが逃走する前には、彼らが怖がっていたり、恐怖にとらわれたりしていない限り、彼らは不機嫌になり、不満を示す。不機嫌さや不満の原因は調査され、取り除かれるべきであり、そうでなければ彼らは逃走したり、'negro consumption'（結核、マラリア、黄熱、コレラなど）に陥りがちになる。理由なく不機嫌や不満を示した時、メーソン・ディクソン線上やその

他の場所において、そうしたことは、逃走やその他の良くない行為への予防対策として、それを鞭で追い出すことを明確に指示している。それは、彼らから悪魔を鞭で追い出すこと、と呼ばれている。

もし親切に扱われ、食事も衣類も十分で、一晩中小さな火を保てるくらいに十分な燃料があり、家族ごとに分離され、それぞれの家があったら一夜に走り回ったり、隣人をたずねたり、訪問を受けたり、飲酒したり、働かせられすぎたり、悪天候にさらされすぎたりすることを禁じられていれば—彼らは世界中のだれよりも簡単に管理できる。これらがすべてなされた上で、もし彼らのうちの一人でも彼らの主人や監督者と同格に頭を上げる傾向があったら、その後のすべての期間、彼らの祖先がカナンや「敬虔で熱心な信者」という名を受けた時以降すべての期間において、彼ら取るべきと定められた従順な状態になるまで、罰するべきであると、慈悲と彼ら自身の良心が要求するのである。逃走することを防いだり、それを治療するためには、彼らをこの状態に維持し、配慮、親切、注意そして慈悲とともに子どものように扱いさえすればよい。

(訳：松長麻美)